

太子中学校だより



文責 校長 長山 芳子
大子町立大子中学校
久慈郡大子町池田1648
EL 72-0158, FAX 72-0461

ポータルサイト<https://www.daigo.ed.jp/page/dir0000009.html>

大人へのスタートライン～第2学年立志のつとめ～



3年生は高校入試（県立高等学校学力検査）まで約一週間となり、自分の進路実現に向けて、真剣勝負の時を迎える時期になりました。1・2年生は2月16日（金）は今年度最後の授業参観でした。1年生は担任を中心とした総合的な学習の時間「職業調べ」の発表、2年生は、生徒の実行委員会を中心とした「立志のつどい」を実施しました。

1年生は自分たちの知っている職業に就くためのプロセスや付けたい力、新しい職業についての調べ学習や紹介するための資料作りを通して、自分の将来について考える時間になりました。

2年生の「立志のつどい」では、立志行事である職業体験やキャリア教育講演会、「立志の言葉」発表を通して、自分の将来について目標を明らかにし、決意し、覚悟を決める時間となりました。一人一人がステージ上で発表した「立志の言葉」には、「笑」「勝」「進」など、自分の大切にしている言葉が述べられ、生徒たちが自分を見つめ、自分で自分の道を切り開いていく決意が感じられました。それぞれの学年段階の一つ一つが生徒たちの将来に繋がっています。14歳、大人へのスタートラインに立った生徒たち一人一人が夢に向かって悔いのない生活ができるよう生徒と対話しながら、生徒自身が目指す場所に近づけるよう関わっていきます。

最後に、学年・学級懇談会にご参加いただきありがとうございました。コロナ禍が明け、通常の保護者の皆様に参加していただく機会は増えましたが、3年間の機会の喪失の影響を感じます。今後も、授業参観や懇談会、保護者面談等機会を大切に保護者が繋がっていきますので、参加へのご理解・ご協力のほど、宜しくお願いいたします。

地域と深める学び

～2学年美術科「水と筆を操る」～

第2学年の美術科「水と筆を操る」において、大子町在住の水墨画家である村山真智子先生をお招きして、水墨画について学びました。生徒は、村山先生の「人生初的水墨画、墨色を楽しんで」の言葉に励まされ、取り組みました。美術科の金子真奈美教諭は、「生徒たちは、村山先生の実演を目の前で見て、その技術に目を輝かせていました。慣れない墨と水の表現に苦戦しつつも、よい作品を作ろうと集中して制作活動に取り組みました。今現在画家として活躍されている村山先生から学べたことは、生徒にとって素晴らしい体験となりました。」と話していました。村山真智子先生には、各学級4時間の授業だけでなく、大子硯や和紙の原料楮についての話や筆、色紙の準備にもご協力いただきました。ありがとうございました。

これからも、学校では、各教科の学習の中で学びを確かなものにし、社会でどのように発展活用されているのか考えたりするため、地域人財や場所を活用した学びを大切にしていきます。



好成績！ たすきでつなぐ仲間との絆

◆第37回ハーフリレーマラソン大会

(令和6年2月4日 主催大子町スポーツ協会陸上競技部)

・中学生の部

第2位 大子中サッカー部A

第3位 太子中サッカー部B

第5位太子中野球部

・女子の部

第3位 太子中学校

